

【乙川リバーフロント地区整備計画】概要

1. 乙川人道橋（仮称）・中央緑道・籠田公園周辺

（岡崎セントラルアベニュー（仮称））

- (1) イベント空間等としても利活用できる人道橋を乙川に架設するとともに、乙川右岸から伝馬通りまでの中央緑道の車道・緑地帯・歩道等を再整理することで、乙川左岸から籠田公園に至る距離約 600 メートル、幅約 16 メートルの空間（岡崎セントラルアベニュー（仮称））を創出する。

この空間は、名鉄東岡崎駅のある乙川左岸地区と、岡崎公園や中心市街地など乙川右岸地区を結ぶ動線として機能するとともに、川と城の景観を楽しむビューポイントや、各種イベントの舞台となるなど、多種多様な形態で利活用される。

（イメージ図 1）

- (2) 徳川家にまつわるエピソードを踏まえ四天王の石像を作成し、岡崎セントラルアベニュー（仮称）にストーリー性を持った形で設置する。

（イメージ図 2）

- (3) 岡崎セントラルアベニュー（仮称）の北端に位置する籠田公園では、岡崎城郭の堀をイメージした親水施設と二十七曲りを意識した園路を配置し、芝生広場と合わせて、潤いと憩いの空間を演出する。

【事業費及び目標完成年度】

・乙川人道橋（仮称）架設	18億 0,400 万円	平成 29 年度
・中央緑道再整備	4 億 6,200 万円	平成 31 年度
・籠田公園再整備	1 億 2,700 万円	平成 30 年度
・四天王像制作・設置	7,200 万円	平成 27 年度※

（※岡崎セントラルアベニュー整備までの間、四天王像は籠田公園内に仮設置の予定）

（参考）

乙川人道橋（仮称）の諸元

- ・延長 122m、幅員 17m(有効幅員 16m)、4 径間

中央緑道再整備の諸元

- ・歩行者空間(含む東側歩道) 16m、車道 10m、西側歩道 4 m

2. 殿橋と明代橋

- (1) 殿橋及び明代橋の照明施設を更新し、橋そのものをライトアップするとともに周辺地区の夜間景観の改善を図る。

（イメージ図 3）

- (2) 殿橋の長寿命化を図るために、耐震化及び橋脚等の補修工事を行うとともに、周辺地区のイメージにあわせた舗装の更新等を実施する。

【事業費及び目標完成年度】

- ・殿橋、明代橋ライトアップ 9,600 万円 平成 27 年度
- ・殿橋の耐震化・舗装等の更新 平成 27 年度（事業費は県と調整中）

3. 乙川プロムナード（左右岸の堤防道路）

- (1) 吹矢橋から名鉄鉄橋に至る乙川左岸、及び、吹矢橋から伊賀川までの右岸側の堤防道路を再整備する。

再整備にあたっては、歩行者のための空間と車道を明確に分離したり、運転手に分かるように歩行者空間を明示するなど、道路の幅員に応じて歩行者が歩きやすいものとなるよう配慮する。また、夜間でも安心して歩けるように照明施設を設置する。

（イメージ図 4）

- (2) 伊賀川の下流部に架かる竹千代橋に並行して、歩行者のための人道橋を架設する。

【事業費及び目標完成年度】

- ・乙川プロムナード 10億 8,400 万円 平成 31 年度※
 - ・竹千代新橋（仮称） 3億 3,000 万円 平成 30 年度
- （※殿橋～伊賀川間の右岸側は 27 年度完成目標）

4. 名鉄東岡崎駅周辺地区

- (1) 現在進行中の東岡崎駅周辺地区整備事業を引き続き推進する。

- (2) 東岡崎駅と乙川リバーフロント地区を円滑に連絡するために、東改札口から北東街区を経て、明代橋公園に至るペDESTリアンデッキを設置する。

（イメージ図 5）

- (3) 東岡崎駅・北東街区と乙川の間に位置する明代橋公園の再整備を行う。

【事業費及び目標完成年度】

- ・明大寺交通広場（事業中） 1億 6,000 万円 平成 28 年度
- ・東岡崎駅前広場（事業中） 6億 3,300 万円 平成 28 年度
- ・関連する市道の整備（事業中） 3億 1,400 万円 平成 30 年度
- ・駐輪場（事業中） 9億 5,600 万円 平成 30 年度
- ・ペDESTリアンデッキ 14億円 平成 30 年度
- ・明代橋公園 3,500 万円 平成 28 年度

5. 乙川河川敷の整備

- (1) プロムナードから河川敷に降りやすくするために、スロープ（斜路）や階段の新設・改良を行う。
- (2) 河川敷に遊歩道やランニングコースを整備する。夜間でも場所が分かるように道の両側には明かりを設置する。

(イメージ図6)

- (3) ドッグラン、親水広場等を整備する。
- (4) 潜水橋を改修する。
- (5) 雨が降っても使いやすい場所とするために、河川敷の水はけを改善する。

【事業費及び目標完成年度】

・スロープ、階段の新設・改良	4億0,100万円	平成31年度
・遊歩道、ランニングコース	8億5,600万円	平成31年度
・ドッグラン	1,100万円	平成27年度
・親水広場	3,500万円	平成28年度
・潜水橋の改修	1億9,000万円	平成28年度
・排水施設	1億1,400万円	平成31年度

6. 乙川水面の利活用

- (1) 岡崎公園地先など乙川の左右岸5か所に船着場を、左岸一か所に舟揚場を設置する。また、常時、お客様を乗せて運航するために五万石舟10隻を調達する。
- (2) ボート乗り場の整備を行うとともに、常時、貸しボートを営むために、様々なタイプのボートを調達する。
- (3) 乙川リバーフロント地区のまちづくりを発信するため、顕彰400年にあたる平成27年より、家康公生誕祭のフィナーレを飾る「泰平の祈り」プロジェクトを実施する。

(イメージ図7)

【事業費及び目標完成年度】

・船着場（5か所）	1億1,900万円	平成27年度
・船揚場（1か所）	2,300万円	平成27年度
・ボート乗り場	800万円	平成27年度
・五万石舟、ボート	2,800万円	平成28年度から
・「泰平の祈り」プロジェクト	8,000万円	平成27年度から

7. その他

- (1) 東岡崎駅前広場に設置する家康公の像の制作費については、広く市民の皆さまに協力を呼び掛けていく。

(イメージ図8)

- (2) 行政がコンベンション・物販等の施設を整備することも視野に置き、引き続き太陽の城跡地へのシティホテルの早期誘致を目指す。行政によるコンベンション・物販等の施設整備が具体化すれば「川の駅・リバーベース」事業として乙川リバーフロント地区整備計画に追加していく。
- (3) 整備計画には、あずまや、トイレ、案内板、サイン等の施設も盛り込まれており、今後、適切な場所を選定の上、順次整備していく。